

# 進路指導部だより

令和7年5月7日  
 東京都立小金井特別支援学校  
 校長 村山 孝  
 進路指導部 小松 裕介

4月に、小学部47名、中学部32名と大勢の新入生を迎え、令和7年度がスタートしました。新しい生活が始まって1か月近くが過ぎ、児童・生徒たちは日々の学校生活の流れに見通しをもち、過ごせるようになってきました。

進路指導部も新しい体制になりました。今年度も進路指導部だよりを定期的に発行し、保護者の皆様に進路指導、キャリア教育等の情報を随時発信していきます。また、夏季休業中に各在住市の保護者向け施設見学、10月に保護者向け進路研修会の実施を計画しています。詳細については、改めて御案内します。

## ○進路指導部メンバー紹介

今年度は以下の8名が担当します。進路に関する疑問や質問、お問い合わせなど、窓口として対応します。どうぞよろしくお願いいたします。

担当主幹	滝川 友紀子		
小学部	低学年	小野崎 純子(1年) 松本 則絵(2年)	
	高学年	吉田 忠史 (4年) 石塚 美帆(5年)	
中学部	小松 裕介 (1年) 吉岡 晴彦(2年) 佐藤 あさ美(3年)		

## ○本校における進路指導、キャリア教育について

進路指導、キャリア教育というと、中学部や高等部卒業後に向けてのものと考えていることが多いと思いますが、キャリア教育は小学部1年生から始まっています。キャリア教育とは、児童・生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するために必要な意欲、能力、態度を育てるものです。また、進路指導については、以下のように考えて取り組んでいます。

進路指導とは、児童・生徒が卒業後の進路先を決めるための指導のことだけでなく、児童・生徒が自立に向けて必要な資質や能力を身に付けていくことができるよう、また主体的に自己の進路を選択し、自己実現を図っていけるように指導、支援していくことです。

本校は、そのような進路指導を小学部入学時から、高等部進学を控えた中学部3年生までの9年間の毎日の生活の中で、継続的に指導を行います。

本人が進路先を決めたり、高等部卒業後の進路先を考えたりすることはもちろん、一日の生活、将来の仕事、自分の好きなことをして過ごす余暇の時間のことを考えたりすること、それら全てが進路に向けての学習です。生涯にわたって充実した生活を送ることができるように、教職員が保護者と本人と考えていくことが進路指導です。

「進路指導の手引き（教員用）」（令和7年度版より）

本校は、小中学部だけの特別支援学校です。そのため、保護者の皆様にとって、お子さんが高校生になった姿をイメージするのが難しい環境かもしれません。また、高等部進学までに身に付けるべき力が、よく分からないと感じている方も多いかと思います。小学部、中学部での生活の一つ一つの積み重ねこそが、将来の大きな一歩となります。「うちの子がこんなことをできたら」と考えて取り組んでみるのが将来、社会の中で生き生きと生活していくことにつながります。保護者の皆様と、担任や進路指導部教員、そして何より本人と一緒に考えていけたらと思っております。また、お役に立てるようなキャリア教育や進路指導に関する情報も発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。